ツスの域か典 で 際方学昨のやん年 字で てく ツ す < れは むい皆 い年から般若いるからのさい シルい ょ よれん サ ク 四つ 月 日 ノス十八文字の後四文字。今月はカリいて学びました ・ださい 漢 ン K ŧ 出て、 原典を クロ スク 訳。 まし から 先月号も クライ リカ をそ 1 き 6 (ぎゃ いわらい経り サン ن ک ちしるべ り方を考え n・で自っ いでは、 いでも いでも ま 朝に そ 1 カライの方子 参考に 版の音 ス 7 意

説転り がよし し

したと

埋解できました。という言語学の解

波羅蜜多(ハラミ

「パラダ

· イス」

解に

大が化し

なく理

(人々)

が救わ

いごとを救われ、世

マック国で、 まま るだ けのリ

界」。 す

とに

りの境地へ行こう」という羅僧羯諦」は「みんなで悟「伽」を略しているので「波くだりの「僧」は「僧伽」のくだりの「僧」は「僧伽」の「サンガ」。「仲間」とか「み う字が 諦境」 地 意味になりま り の 羅 くだりの「僧」 の境地へ行こう」(僧羯諦」は「みん 地へ行こう」 意味でしょう サンスク 漢 訳の ってい ん中に 「僧伽(そう リット ます  $\neg \circ$ 語 0 ぎ 音 P Z りは で

レ

をおれてい です。ごうに、「菩提寺」の「芝 ŋ していた るのは、「善い」「「一番」 で苦 音提」と (仏様) き方、人間哲学が大切 少の V

Y

を説くのがご心

一です。

です。生

ここまでで二六十六

いて学びまし

人に親しまれるご

うの心の持ちよう、らくするためには、一

中

(社会)

の争

いう含意もあるようです。 行こう、悟りの辞提薩婆訶」 諦揭諦波羅 するか んなで行こう、 婆 あり就 羯 が したこと のは諦 、とう」 境地へ 多くの

よあと

薩

座婆訶

( ぼ

ーそ

てし)

う、

0

前半

文字は

0

行き着こう、

ーてー)

- てー)

波羅僧は

羯

る次の

感

謝

ぎ

「波羅羯 境 地 0

とう

2

い

j

生

分ウ接 口 英たの コ 会が 気 う 感じで 0 眼英 か h のか訳 ま部らに

イス、 (ぎゃ ツ ツ 訳 で の「ゴ諦ダ・ 



発行編集部

大塚耕平事務所

**☎052-757-1955** 

■ 参議院議員大塚耕平OKツアー

弘法さんかわら版」執筆者大塚井平と行く

秋たけなわ、今年も「高野山バスの旅」に出発。戦国 武将真田昌幸・幸村親子ゆかりの宿坊「蓮華定院」に泊 まり、金剛峯寺、奥の院などを参拝。九度山真田庵、真田 ミュージアムにも行きます。読者限定20名様。お早目に お申込みください。

記

程: 平成28年10月30(日)~31(月)

集 合: 覚王山 7:45 / 名古屋駅西口 8:15

散: 名古屋駅18:30頃/ 覚王山19:00頃 解

参加費: お一人さま 25,000円

お問合せ: 052 757 1955 大塚耕平事務所 / 担当: 浅井

